

考古学フォーラム

「あらわれた浅間山麓の晩期縄文人」 ご案内

下記要領で考古学フォーラムを開催します。

氷遺跡など小諸の晩期に属する縄文遺跡も取り上げて、終末の縄文社会について整理します。

また、特別講演では、化学分析による古食性の復元研究で学会をリードする東京大学総合研究博物館の米田稷教授が、昨年報道された市内七五三掛遺跡の研究成果に触れながら、縄文人の雑穀利用について講演します。

列島にもたらされた農耕技術を縄文人は如何に取り入れて社会を転換させていったのかに迫る、最新の研究成果を踏まえたフォーラムです。

■詳細情報

- 1. フォーラム名 「あらわれた浅間山麓の晩期縄文人」
- 2. 日 時 令和4年11月27日（日） 9時30分から15時40分
- 3. 場 所 小諸市民交流センター ステラホール
- 4. 対 象 一般市民・有識者 100名（無料 要申込）
- 5. プログラム 添付チラシをご覧ください。
- 6. ホームページ <https://www.city.komoro.lg.jp/official/topics/12748.html>



七五三掛遺跡出土人骨

晩期縄文人の頭骨及び下顎骨。
現在図書館郷土コーナーで展示中。



■問い合わせ先

小諸市役所 文化財・生涯学習課 文化財・生涯学習係 担当：高橋陽一
Tel.0267-22-1700（内線2281） Eメール gakushu@city.komoro.nagano.jp